

ナンヤン・ポリテクニク (Nanyang Polytechnic)

担当教員：山下、藤野

概要 (提携：2010年～ 人数：授業料免除交換留学生 1～4名) 10月中旬～2月末 (5ヶ月間)

<p><所在地> ホームページ</p>	<p>180 Ang Mo Kio Avenue 8, Singapore 569830 http://www.nyp.edu.sg</p>
<p><沿革></p>	<p>ナンヤン・ポリテクニク (NYP) は、1992年に設立された3年制の国立専門学校で、7つの学科を持つ日本の高等専門学校的な存在。17歳から20歳前後までの学生が3年間学び、NYPを卒業後に大学に進学する学生も多い。学生数は約15,000名。シンガポールには、4つの大学、4つのポリテクニクがあるが、ナンヤン・ポリテクニクは実践的教育が特徴。シンガポールへは成田から約6時間、時差は1時間。</p>
<p><特色></p>	<p>本学からの留学生は、ビジネス学科 (School of Business Management) の専門科目 (モジュール) を通常5科目受講する。英語学習のためのクラスやコースはない。多くの授業で、Black Boardという学習管理システムを用いているので、留学するにはノートパソコンが必要。全世界10以上の大学 (ドイツ、オランダ、フィンランド、アメリカ、中国、韓国など) と提携し、毎年50～60人の留学生を受け入れている。(アジアからの留学生はほとんどが韓国からの学生。) ビジネス学科の学生数は約3,000名。経済学部及び外国語学部(主な対象者はビジネス副専攻生)の学生は、以下のような授業を履修することが可能。(科目名は2014年度のもの) Effective Writing Skills/ Effective Oral Communication/ Internet and Web Technologies/ Business Software Applications/ International Business/ Sport Administration/ その他ビジネス関連の授業</p> <p>授業の多くは60分授業が週に3回、すべて英語で行われている。クラスによって異なるが、大概、1回目は大教室でレクチャーを受け、2回目・3回目は20～30人程度のクラスに分かれてプレゼンテーションや質疑応答などが行われる。グループワークを課す授業も多い。授業の評価は、ICA (In Class Assignment) と呼ばれる「平常点」か、学期末の Exam 「試験」で行われる。</p>
<p><宿泊></p>	<p>キャンパス内にある国際留学生用高層住宅に入る。アパート形式の宿舎であり、居室、キッチン、トイレ、シャワールームから成る。1つのアパートを5～6名の留学生が共有し、居室は原則的に二人部屋である。留学生はほとんどがヨーロッパおよび韓国からの学生である。日本人学生は韓国人学生と同じアパートに住むことになる。</p>
<p><生活></p>	<p>シンガポールのやや北部。シンガポール・チャンギ空港はシンガポールのやや東部。町の中央からやや北側にナンヤン・ポリテクニクのキャンパスがあり、キャンパス前に MRT (Mass Rapid Transit) と呼ばれる電車の駅があるため利便性が高い。MRTは市街地は地下を走るが、それ以外の地域では高架式となっている。キャンパスからダウンタウンまで MRTで約30分。電車の運賃は日本の3分の1程度。バスも利用可能。タクシーも安い。学内のカフェテリアで朝・昼・夕が食べられる (3ドル～6ドル程度)。シンガポールでは、英語の他に中国語も用いられている。また、韓国からの留学生と宿舎で生活を共にする可能性が高いので、英語の他に中国語または韓国語も使う機会が多い。</p>
<p><条件></p>	<p>TOEFL(ITP) 480点以上が望ましい。</p>
<p><留学時期></p>	<p>2年次または3年次第2学期から5ヵ月</p>
<p><奨学金制度></p>	<p>NYPの1学期間の授業料は、全学で4名 (1学期分) 免除あり。</p>

【シンガポール】ナンヤン・ポリテクニク(5ヶ月)

留学費用(概算)(2024年度の例) 5ヶ月(10月~2月) 1シンガポールドル= 110

1) 留学先での費用・他	シンガポール\$	金額(5ヶ月)	支払い方法
授業料(1学期分免除)			
寮費 \$350-\$450/月 (\$400×5ヶ月)	\$2,000	¥220,000	寮費と保証金は留学前に銀行送金する。
Deposit(1ヶ月分)	\$300	¥33,000	
Utility \$200-400/月(\$300×5ヶ月)	\$1,500	¥165,000	
Stamp Duty (印紙税)	\$100	¥11,000	直接現地で支払う(現金支払い)
Student Pass (Immigration)	\$120	¥13,200	
交通費 \$100~\$150/月	\$500	¥55,000	
食費 \$300-\$450/月 (概算3万円/月)	\$1,500	¥150,000	
合計①	\$6,020	¥647,200	
2) 渡航費用・他			
航空運賃(羽田→シンガポール往復)	}	¥92,020	Skyscanner フィリピン航空の例 2023.3.14
成田空港使用料・空港税・燃油税			
成田空港出国手続き補助費			
海外旅行保険 *必ず加入(概算5ヶ月の例)		¥45,560	学研災付帯海外留学保険(団体加入)
合計②		¥137,580	

留学費用概算 合計①+② ¥784,780

3) 麗澤大学への納入金			
授業料		¥415,000	期日までに廣池学園経理課へ振込む。 (第1学期分3/31・第2学期分9/19)
施設費		¥150,000	
学友会費 1学期のみ納入			
後援会費			
合計③		¥565,000	

留学費用概算 合計①+②+③ ¥1,349,780

ナンヤン・ポリテクニク

履修科目と単位認定(例)

<認定科目は個人によって異なるので以下の例は参考として見ること>

◆2015年10月～2016年2月留学の認定例

<英語コミュニケーション専攻2年生2学期留学 副専攻：ビジネス>

ナンヤン・ポリテクニク		麗澤大学			
履修科目		時間 (分)	認定科目名	科目区分	単位数
Macroeconomics	60分週3コマ	2700	Discussion on Culture and Society IV	基演・必	2
Business Software Applications	60分週3コマ	2700	English for Communication IV	基演・必	2
Effective Writing Skills	60分週4コマ	6750	海外留学基礎研究 A 副専	副専	2
Effective Oral Communication	60分週4コマ		海外留学基礎研究 B 副専	副専	2
			海外留学基礎研究 C 副専	副専	2
			海外留学基礎研究 D 副専	副専	2
			海外留学基礎演習 A 基演・自	基演・自	1
合計 13 単位					

◆2014年10月～2015年3月留学の認定例 <経済学部経営学科2年次2学期留学>

ナンヤン・ポリテクニク		麗澤大学	
履修科目	単位数	認定科目・区分	単位数
Preparatory English(OSEP)	2	外国語科目	2
Human Resource Management & Practices	3	基礎専門 A 群科目	3
International Marketing	3	学科専門科目	3
Internet & Web Technologies	3	基礎専門 B 群科目	3
Business Software Applications	3	共通専門科目	3
合計 14 単位			

◆2014年10月～2015年3月留学の認定例 <経済学部経営学科2年次2学期留学>

ナンヤン・ポリテクニク		麗澤大学	
履修科目	単位数	認定科目・区分	単位数
Effective Writing Skills	4	外国語科目	4
Effective Oral Communication	4	外国語科目	4
Media Psychology	3	教養科目	3
Business Software Applications	3	共通専門科目	3
合計 14 単位			

ナンヤン・ポリテクニク

留学に際しての留意事項

留学前	<ul style="list-style-type: none"> ・各種説明会、事前のオリエンテーションに参加すること。 ・何事も早めに準備し、締め切りを守ること。 ・ナンヤン・ポリテクニクへの提出書類（秋学期【10/中旬~2月末】の送付〆切は5月末） <ul style="list-style-type: none"> ①Application ②パスポートコピー（有効期限が6ヶ月+滞在期間以上あること） ③カラー写真2枚（パスポートサイズ）④TOEFL スコアコピー（480以上） ⑤海外旅行保険証英文コピー（後日提出可）*以上のPDFファイルを送信後、原本郵送 ・パスポート、海外旅行保険などの重要書類は必ず複数コピーをとり、家族と自分用に別に保管する。トランクのスペアキーも必ず別の場所に保管する。 ・持病のある人は病歴、処方箋等を記した健康診断書を持参する。 ・常備薬等を持参する。留学前に歯の治療をしておくこと。 ・<u>2年生後期で留学する場合は、帰国後、道徳科学Bを必ず履修しなければならない。</u> ・NYPで履修する授業科目については、留学出発前に、各自がNYP担当者とメールで交渉して決めること。NYPで履修する授業の時間数を確認し、自分が所属する専攻のコーディネーターの先生と相談し、どのような単位互換が可能か事前に確認すること。
留学中	<ul style="list-style-type: none"> ・到着後、メールで家族と国際交流センターへ連絡する。 ・宿舎は他国からの留学生と相部屋になる。部屋番号、携帯電話番号などもわかり次第連絡すること。時間割が決まったら担当教員へ連絡すること。 ・留学先に到着後「在留届」をインターネットで提出する。http://www.ezairyu.mofa.go.jp/ ・NYPの学生やシンガポール人の英語は、慣れるまで多少聞き取りにくいかもしれない。 ・シンガポールでは、英語の他に中国語も用いられている。また、韓国からの留学生と宿舎で生活を共にする可能性も高く、英語の他に中国語や韓国語を使う機会もあると思われる。 ・留学中は定期的に担当教員及び国際交流センターにE-mailで近況を報告すること。 ・留学中必ず留学生現地レポートを送ること。メールに本文をそのまま書き、写真はjpgで添付すること。縮小(目安600×450ピクセル)できない場合は1枚ずつ添付すること。 ・留学中に、シンガポールを拠点として、マレーシア、タイ、インドネシアなど、近隣の東南アジア諸国を訪問することも可能。再入国の手続き？ ・車、バイクの運転及びバイクの同乗は禁止。夜間タクシーには絶対一人で乗らない。 ・空港、駅などで荷物を運ぶなどの頼まれモノは絶対しない。 ・2年後期で留学する場合、10月中旬に留学先で3年以降の専門ゼミナールの申込をする事。 ・車、バイクの運転および同乗は絶対禁止。 ・やむ終えない事情で一時帰国する場合は、必ず事前にNYPおよび麗澤大学に連絡を取り、所定の手続きをする。 ・留学終了が近づいたら留学プログラム終了日から帰国日までの予定を両親と担当教員、国際交流センターに知らせること。留学プログラム終了後は自己の行動に責任を持つ。
帰国後	<ul style="list-style-type: none"> ・直ちに担当教員、国際交流センターまで連絡する。 ・お世話になった方々に速やかに礼状を出し、無事帰国したことを知らせる。 ・帰国後一ヶ月以内に、単位認定に必要な資料を提出すること。体験記はA4で2枚以上、適当なタイトルをつけ、一緒に掲載できる写真を1~2枚jpgで添付し、国際交流センターへメールで提出すること。(②③はホームページよりダウンロード) <p><提出書類>①留学先成績証明書 ②海外留学単位認定願 ③海外留学単位認定資料 ④体験記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単位の互換については自己責任において確認し、その後の履修計画を立てること。